

第24回全国障害者スポーツ大会 2025

わたSHIGA輝く障スポ

湖国の感動 未来へつなぐ

大会報告書

はじめに

【全国障害者スポーツ大会の意義と歩み】

全国障害者スポーツ大会は、障害のある選手が競技等を通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、多くの人々が障害に対する理解を深め、障害のある人の社会参加を推進することを目的として開催される国内最大の障害者スポーツの祭典です。

全国障害者スポーツ大会は、平成12年（2000年）まで別々に開催されていた「全国身体障害者スポーツ大会」と「全国知的障がい者スポーツ大会」を統合し、平成13年（2001年）に第一回大会が宮城県で開催されました。以降、オリンピック終了後に開催されるパラリンピックと同じように、毎年、国民体育大会終了後に開催されています。

【わたSHIGA輝く障害者スポ25 滋賀大会の概要】

大会スローガン 滋賀県で開催する第24回全国障害者スポーツ大会「わたSHIGA輝く障害者スポ25」は「湖国の感動 未来へつなぐ」をメインメッセージに掲げ、琵琶湖で生まれた感動が、大会に関わるすべての人に刻まれ、明日への活力、未来への希望として将来にわたって引き継がれるようにとの願いが込められている。

大会日程 令和7年10月25日（土）～27日（月）

会場地 彦根市など13市町

実施競技 個人7競技、団体7競技、オープン競技4競技

参加自治体 47都道府県+29指定都市

【札幌選手団の活躍】

選手団の構成 個人競技 33人、団体競技 16人、
役員 39人 合計 88人

成績 金18個、銀9個、銅8個

【選手団の日程】

10月9日（木）	結団式
10月23日（木）	札幌選手団出発
10月24日（金）	各会場にて公式練習 滋賀県との交流（卓球）
10月25日（土）	開会式・大会1日目
10月26日（日）	大会2日目
10月27日（月）	大会3日目・閉会式
10月28日（火）	帰札・解団式



一般社団法人 札幌市障がい者スポーツ協会

強化練習 9月2日～10月21日

大会に向けて各競技
日々の練習の成果を発揮できるよう・・



結団式＆選手団全体会議 10月9日(木) 札幌市身体障害者福祉センター

札幌市選手団団旗が長江団長に授与された後、金谷
スポーツ部長から秋元市長に代わって「日々の練習の
成果を十分に発揮していただ
ければと思います。そして、
この大会が、皆様の競技生活
において忘れられない素晴らしい思い出となり、更に輝く
未来へと繋がることを心から
願っています」と激励の挨拶
がありました。

その後、札幌市選手団としての留意事項・スケジュール・
ユニホーム支給など、大会に
向けて気持ちを一つに・・・



出発 10月23日(木)

朝、札幌市役所を出発して新千歳空港から伊丹空港へ、そして宿泊地の滋賀県へバスで移動しました。選手は期待と不安で緊張ぎみ……



開会式 10月25日(土) 平和堂HATOスタジアム(彦根市)

47都道府県と29政令指定都市の選手が平和堂HATOスタジアムに入場しました。札幌市選手団は北海道に続いて66番目に緊張しながらも笑顔で行進しました。式典には秋篠宮ご夫妻がご臨席され、「参加される皆様には、日ごろの練習の成果を存分に発揮され、素晴らしいパフォーマンスを披露していただければと思います。」と御挨拶され、続いて炬火が点火されました。



閉会式 10月27日(月) 平和堂HATOスタジアム

高円宮妃久子さまがご臨席され、「今後も積極的にスポーツに取り組み、自己の身体や精神を鍛え、楽しく充実した毎日を送ることを願っております。」と述べられた後、来年の開催地である青森県に大会旗が引き継がれ、大会を見守った炬火が納火されて、3日間にわたった障がい者スポーツの祭典が閉幕しました。



お別れ会(陸上) 10月27日(月) 平和堂HATOスタジアム選手村

札幌選手団のお世話・応援をしてくれた

滋賀県職員・ボランティアさんへ

“ありがとう”“感謝”“お疲れ様でした”

解団式 10月28日(火) 新千歳空港

滋賀県から伊丹空港経由で新千歳空港に到着し、選手は長旅で疲れもありましたが、充実した滋賀大会を終え、選手皆、笑顔で大会の余韻を楽しんでおりました。秋元市長に代わってスポーツ局西田スポーツ振興担当課長から、「嬉しいことも悔しいこともあったかと思いますが、今回の大会で得た経験を糧に選手の皆さんには、それぞれの夢や目標に向かって、より一層ご活躍されますことをお祈り申し上げます。」と挨拶があり、そして「札幌選手団の成績は金メダル18個、銀メダル9個、銅メダル8個、計35個と大活躍でした。」と大会結果報告がありました。



各競技の紹介

◆ 陸上 (身体・知的) : 平和堂HATOスタジアム (彦根市)



◆ 水泳 (身体・知的) : インプロニア草津 (草津市)



◆ 卓球 (身体・知的・精神) : 野洲市総合体育館 (野洲市)



◆ アーチェリー (身体) : 愛荘町スポーツセンター 泰荘グランド (愛荘町)



◆ フライングディスク (知的) : 甲賀市水口スポーツの森 (甲賀市)



◆ ボウリング (知的) :
ラピュタボウル彦根 (彦根市)



◆ ボッチャ (身体) :
甲賀市水口体育館 (甲賀市)



◆ サッカー (知的) : 野洲川歴史公園サッカー場 ビックレイク (守山市)



**滋賀県との交流会 10月24日(金)
甲賀市柏木小学校**

今大会では、札幌市選手団卓球チームが滋賀県甲賀市柏木小学校で小学生と卓球の交流会を行いました。生徒の皆さんと卓球の試合をするなど、大変喜んでおりました。



寄り道 10月28日(火)

各競技の宿舎から伊丹空港へ向かう途中に京都映画村へ寄り道をしました。

選手は、大会の緊張から解放され、楽しいひと時を・・



わたSHIGA輝く障



陸上選手

工藤 里美

「全国大会に出ませんか？」事務局からの電話に戸惑いの反面とても嬉しかったことを覚えています。

初めてのスポーツ、初めての大会、何もかもが初めてでした。

どんな年齢になってもスポーツを始めるることは無駄ではない、何かに全力を注ぐことは恥ずかしいことじゃないと教えてくれました。

とても貴重な体験をできたことを感謝しています。

いろんな選手との出会いはかけがえのないものになりました。

大会中は時間に追われて大変でしたが、とても楽しく思い出となる時間になりました。

ありがとうございました。



陸上選手

鈴木 勇騎

全国大会（わたSHIGA輝く障ス）では、100m走と走り幅跳びに出場しました。大会前に怪我をして思うようには走れませんでしたが、全国という舞台で最後まで全力で頑張ることができました。悔しい思いもありますが、色々な県の選手と関わることができ、とても良い経験になりました。全国大会に選んでくれた先生方や仲間たちに感謝しています。これからも練習を続けて、もっと良い記録を目指して頑張っていきたいと思います。貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。



水泳選手

山崎 佳奈子

今大会は、チームの力を感じる大会となった。練習最終日に円陣を組んで掛け声をした事で、みんなとの距離が縮まった。

大会初日は、秋篠宮佳子様が応援に来てくれたので、いつもとは違う緊張感。けれど、コーチのサポートのおかげでリラックスでき、ヤル気十分！レースに挑めた。

夕食時には、自発的なミーティングが行われ、翌日お互いの目標を知れた。おかげでしっかり応援できましたし、みんなで喜びあえた。

私もレースに集中しやすくなり、結果、2種目とも大会新記録を出す事ができた。とても嬉しい。みんなありがとうございます。



水泳選手

吉川 恭平

大会1か月前に発症した太もも裏の痛みと腰痛の不安を抱えながら臨みました。プールに入らなかった間はチューブトレーニングで感覚を養い調整していく結果として半フリでは自己ベストを更新することができました。

沢山の手厚い迅速なサポートと激励を受け閉会式の旗手もやり遂げることができました。関わって下さった全ての皆さん本当にありがとうございました。今後も競技力向上に努めます。



卓球選手

船戸 理来

今回の滋賀国体は2年前の鹿児島国体に続いて、2回目の参加となりました。

今大会も前回大会に続いて、金メダル獲得を目指し遠征に臨みました。

遠征メンバーは年齢が近い選手が多く、大会期間中は良い雰囲気の中過ごせたことが、試合での良いパフォーマンスに繋がりました。

遠征中は試合の他にも現地での小学生や滋賀県を代表する世界的な選手と交流する機会を設けて頂けたことで良い刺激を貰うことができました。私も日本代表を目指し負けずに努力していきたいと思います。



卓球選手

福島 耕太

国体2回目久しぶりに大会に出ました。

1日目は、一試合目で0-3で負けました。

2日目は、試合前に緊張感をほぐしてアップもしました。

2試合目で3-2で勝ちました！

今回の試合でいろんな人の試合を見たり強い人と試合をできてとても楽しい良い試合になりました。

お互い良いプレイをできたんじゃないかなと思っております。

今年は2位になりましたが、他の選手も強い良いプレイを見せてもらいました。

またどこかで他の人と練習や試合をやりたいと思います。

みなさんの応援があったからこそ勝てて嬉しいし僕にもある選手から力をもらいました。

その選手に感謝をしたいなって思っています！

ス ポ 2 5 を 振 り 返 つ て



卓球選手

堀内 史顕

初めての卓球の全国大会に選ばれ大会を経験しとてもいい経験になりました！やはり、札幌だけで試合をしても、限られていますし、視野が広がらない所もあり、未知の知らない選手と試合をやる事で自分の課題も多数わかり、その点を今後の練習に生かして行きたいと思いますし、さらなるレベルアップをし、次回全国大会に選ばれた時に向け頑張って行きたいと思います！

今度、全国大会に出る機会がありましたら、今回以上の成績が残せるよう、鍛錬して参ります！ありがとうございました！



アーチェリー選手

松尾 和紀

僕はこの大会を通して様々な経験をすることができました。初めての大舞台で、これまでにない喜びと緊張に心を揺さぶられました。

大会当日は大雨で結果的にあまり良い記録ではなかったので、心残りはあったものの、最後まで笑顔でいることができて、ほっとしています。

今回は優勝はできなかっただけれども、この大規模な大会での沢山の人の応援や関わりを心にしまい、今後の練習でしっかり成長していきたいです。



ボウリング選手

柳田 克人

今回、17年ぶりの全国大会に参加しました。開会式、閉会式ともに盛り上がりがすごくてとても感動しました。

ボウリングの成績は4位で自分としては満足していないです。

また全国大会に行けたとしたら、今回の成績を超えてメダルを取りたいです。



フライングディスク選手

柏谷 一弘

「はじめて大会に参加して」熱気と活気、人のおおさに練習もうまいかず、緊張ばかりでも、また大会に参加できるなら再チャレンジつぎは ガンバル



フライングディスク選手

山本 諭

練習をやり 大会の中 風や雨の中で なかなか うまくできませんでした。

ほかの選手たちは、上手でした。
5泊6日も滋賀県にいったのに観光の時間が出来ず残念だった。



ボッチャ選手

藤井 和雄

全国障害者スポーツ大会に出場して天候が心配だった開会式も参加できました。ボッチャ競技は、金子さん（車イス）とペアを組んで試合で接戦続きました。

札幌市で初めて優勝（幸運）できたことは、とてもうれしかったです。

菅コーチも大変喜んでくれました。日頃、練習に手伝ってくれたコーチ・クラブ仲間たちに感謝しています。全国から来た選手達のファイトあふれるプレーをたくさん見てきました。

チームワークは、日頃の積み重ねでと感じ、これからもボッチャを続けていきます。



サッカー選手

阿部 蓮

僕は、今回の全国大会で、初戦と準決勝で初めてスタメンに選ばれました。

とても緊張しましたが、練習でやってきたことができました。

ただ、チームとして優勝を目指してましたが、準決勝で負けてしまい、最終結果は3位でした。とても悔しかったです。来年こそは全国大会で優勝できるように練習を頑張っていきます。

[札幌選手団]名簿

団長 長江 瞳子
副団長 西田 忠弘
総務 錢谷 昌平
深宮 昌平
しのぶ

菅田 恒
盛 和夫

岡崎 勇二
瀬戸 嘉乃

陸上 (21名)

コーチ	佐藤 奏未	志摩 初枝	岡田 裕樹
	高橋 隆芳	杉本 富武	
トレーナー	榎館 強拓	安部 朋美	
選手	草彅 章一	永井 剛司	植田 万喜子
	工藤 里美	佐々木 好誠	斎藤 雄聖
	五野井 志保子	堺本 裕哉	伊藤 力哉
	佐藤 翼	田中 岳斗	森川 莉愛
	鈴木 勇騎	清實 夏希	

水泳 (9名)

コーチ	高橋 ちか子	佐々木 三枝子	篠澤 正樹
選手	細野 記一		
	山崎 佳奈子	森谷 忍	志田 修靖
	吉川 恭平	石井 飛州	

卓球 (13名)

コーチ	清水 明子	尾山 輝美	安藤 孝志
選手	佐藤 史人	青木 由佳	田村 真理子
	有澤 康太	船戸 理来	田村 優衣
	湯浅 加偉	福島 航太	堀内 史頤
	高橋 遥		

アーチェリー (3名)

コーチ 倉知 永子
選手 松尾 和紀

フライングディスク (3名)

コーチ 安藤 優太
選手 柏谷 一弘 山本 諭

ボウリング (4名)

コーチ 青木 敬仁
選手 柳田 克人

馬場 さおり
馬場 広史

ボッチャ (6名)

コーチ	菅 金子	大地 真理和	藤井 チヅ子	金子 裕
選手	藤井 和雄		金子 心結	

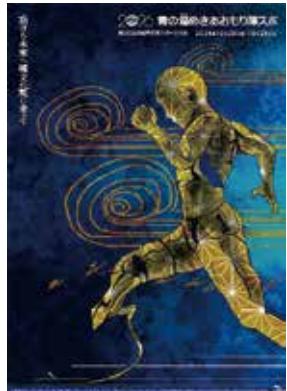
サッカー (21名)

監督	小島 諭師		佐々木 翼	
コーチ	馳川 尚平	昌弘	富田 悠平	
トレーナー	久保 航		高橋 巧	
選手	依田 一成	彦根 凌	梶浦 真竜	國吉 拓夢
	澤井 一成	高橋 正英	松本 竜也	牛島 陽輝
	高橋 小林	大樹 拓也	枝松 利一	中本 裕斗
	前田 前田	健太	澤 健太	阿部 蓮
				阿部 智也



『第25回全国障害者スポーツ大会』

令和8年10月23日(金)～26日(月)



競技会場:青森市ほか



青の煌めきあおもり国スポ・障スポ
2026
翔けろ未来へ縄文の風に乗って
第80回国民スポーツ大会 第25回全国障害者スポーツ大会

編 集 後 記

滋賀県全スポーツ陸上競技の会期中に、札幌選手団を専属でサポートしていただいた県職員のTさん。

お別れ会で、「見よ勇者は帰る」をバイオリンで生演奏してくださいました。

いたわりのこころが伝わってきました。やさしい音色が鼓膜に残りました。

Tさんは選手たちを見守りながら、自分にできることはなんだろうと思いつめぐらしてくれていました。

その人にしかできない、ささやかな「何か」というものは、胸を打ちます。

ありがとうございました。

